

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	コアヴィレッジ日本橋 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2026年3月14日		2026年3月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32人	(回答者数) 19人
○従業者評価実施期間	2026年3月14日		2026年3月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	臨床心理士・公認心理師・保育士・教員免許保持者など多様な専門職が在籍しており、それぞれの専門性を活かした多角的な支援が提供できている。個々の特性や発達段階に応じた関わりが実現できている。	限られた空間を有効活用するため、パーテーションやカーベット等を用いて活動スペースを柔軟に区切り、子どもにとって分かりやすく構造化された環境づくりを行っている。また、活動内容や特性に応じて空間を調整し、安全性と集中しやすさの両立を図っている。	支援内容や活動の意図、評価結果等について、より分かりやすく保護者へ発信する体制を強化する。ICTツールや掲示物の活用方法を整理し、情報の見える化と透明性の向上を図る。
2	STEM教育や脳バランスなどICT療育を行い、定期的に数量的に保護者へ結果を配布し、認知機能の向上に対してアプローチしている	空間認知やワーキングメモリーのアセスメント等、生活や学上で必要な概念理解や自己認知を促せるよう、トレーニングに積極的に取り入れ、実施している。	今後も、学校の教育内容の変化に応じて、IT社会の中で生きていく子どもたちが大人になった時に、学ぶ楽しさを知っていけるよう、変化に応じたトレーニングやツールの検討を行い、実施していく
3	送迎時のフィードバックや面談、ICTツール(HUG等)を活用した情報共有により、保護者との密な連携が図られている。日々の様子や成長の共有が丁寧に行っている。	活動プログラムが固定化しないよう、利用間隔や個々の興味関心を踏まえながら内容を調整している。個別活動と集団活動を組み合わせ、子どもの成長段階やニーズに応じた柔軟な支援を行うことで、継続的な意欲向上を図っている。	ペアレントトレーニングや保護者向け研修、交流機会の充実を図り、家庭支援の強化を進める。保護者同士のつながりづくりも含め、継続的に支援できる体制を整備する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースに一定の制約があり、特に動きの多い活動時には接触等のリスクが生じる可能性がある。また、建物構造上、階段の利用が必要であり、バリアフリー面での課題も残っている。	施設の物理的な広さや構造に起因する制約があり、大幅な環境改善が難しい状況にある。そのため、運用面での工夫に依存する部分が大きくなっている。	空間の安全性を高めるため、レイアウトの見直しや活動内容の調整を継続的にを行い、事故予防の観点からの環境改善を進める。また、階段利用時の見守り体制も強化する。
2	地域との交流機会や、保護者同士・きょうだい間の交流の場が十分に提供できていない。外部との関わりや横のつながりの機会が限定的である点が課題となっている。	日々の個別支援や安全管理に重点を置く中で、地域交流やイベント企画に割く時間・人員が不足している。優先順位の関係で後回しになりやすい傾向がある。	年間計画の中に地域交流や保護者会を位置付け、計画的に実施できる体制を整える。小規模からでも実施を積み重ね、外部との関係構築を進めていく。
3	防災訓練や安全対策は実施されているものの、保護者への周知や情報発信が十分とは言えず、実施状況が伝わりきっていない部分がある。情報共有の質にばらつきが見られる。	情報発信手段が複数(口頭・ICT・掲示等)存在する一方で、運用ルールが統一されておらず、伝達の抜けや認識の差が生じている。結果として保護者への周知にばらつきが出ている。	情報発信の方法やルールを整理・統一し、重要事項(安全・訓練・支援内容等)が確実に伝わる仕組みを構築する。ICTツールの活用方法も含め、職員間で共通認識を持って運用する。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	コアヴィレッジ日本橋 児童発達支援	公表日	2026年3月31日
------	-------------------	-----	------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	・パーティションを用いて空間を上手に区切るなど限られたスペースを有効に活用している ・適切に行われている	・走り周るなどの状況になった際に接触が危惧される場面がある
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	・足りない時は教室内で助けを求めるなど、協力して行っている	・補助職員の配置があると望ましい ・特定に日にちで個別に利用する児童が多くなり、複数人を少ない職員で見なければならない場面がある
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・構造化された環境になっている ・見渡しやすい環境となっている	・施設内に会談があり、バリアフリー化が十分でない為、段差の解消など環境整備を進めてほしい ・構造化された環境についての知識がまだないので不明
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・子どもたちの活動に合わせた空間づくりがされており、心地よく過ごせる環境となっている ・子どもたちの活動に合わせてセラレートをを行うなど、特性に合った環境づくりを行っている ・消臭剤を置くなど、清潔感を保っている	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・必要に応じて子どもが個別の部屋や場所を使用できるよう工夫がされている ・必要に応じて相談室が個別の部屋として利用できるようなっている	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	・終礼などで共有改善する時間を作っている ・定期的話し合いを行っている ・日々のミーティングでの共有も、PDCAを意識して取り入れている	・PDCAサイクルが十分に機能していないため計画・実施・評価・改善の流れを意識した取り組みが必要である
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・保護者向け評価表で課題を把握し、業務改善に活かしている ・定期的アンケートを行い、保護者の意向・意見を把握している ・スタッフ全体でフィードバックしている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・職員の把握する機会を設け、その内容を業務改善に活かす工夫がされている ・職員会議にて職員の意見を把握する機会を設けている ・定期的な話し合いが出来ている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	・スタッフ全体で確認をしている	・第三者評価は実施していないため、結果が出たら改善につなげたい ・今後行っていきたい
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・さまざまな研修を実施しており、職員の資質向上が図られている ・定期的に社内研修が実施されている	
適	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	・HPにて公開されている ・適切に作成されており、公表もされている	・職員共に周知が不十分の為、HPで適切に公開されていることを共有出来るよう工夫が必要である
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・アセスメントと保護者の意見を踏まえ、個別支援計画を作成している ・モニタリングなどで子どもと保護者の意向を把握している	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・職員全員で個別支援計画を作成し、ケース会議で話し合いを行っている ・ケース会議などで他の職員の意見をもらい、児童発達支援計画を作成している	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・支援前には必ずHUGで個別支援計画を確認し、その内容に沿って活動を行っている ・原案時にケース会議を行い、職員かんでの読み合わせを行うなどしている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	・様々なアセスメントを用いて状況の確認を行っている ・脳/ランサー等、外部アセスメントツールを使用している	・子どもの適応行動状況のアセスメントは行ってない為情報が十分に把握されていない
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具	7		・児童発達支援ガイドラインに基づき、支援のねらいや具体的な内容が明確に設定されている ・具体的に学校名などを記録しながら、必要な項目を設定している	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	・活動プログラムの立案は個人ごとに行い、共有が出来る際に共有を行っている	・活動プログラムの立案がチームで行われるのはイベントの時のみであり、日常のプログラム改善へのチーム参加は充分ではない
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・個々の個別プログラムが固定しないよう工夫を行い、子ども一人ひとりの状況に応じた柔軟な支援が出来る体制を整えている ・活動日の前の利用などを確認しに、連続、近い利用日で同じ活動が重ならないようにしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		・個別活動と集団活動を組み合わせた児童発達支援計画を作成し、支援を行っている ・子どもの状況に応じて個別と集団を組み合わせる形での児童発達支援計画を作成し支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・支援開始前委に1日の流れを職員間で話し合い、担当を決めてチームで連携して支援する ・毎日の朝礼で配置の確認等それぞれの動きの確認を行っている ・全体で話し合っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・支援終了後に職員間で1日の活動を振り返り、反省点や改善点について話し合っている ・毎日終礼を行い、連絡事項等の共有を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・日々の支援内容を記録し、その記録をもとに支援の検証や改善に活用している ・特に目立った様子があれば、終礼にて様子の報告・共有を行い、状況の改善を行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・定期的なモニタリングを実施し、その結果を踏まえて児童発達支援計画の見直しを行っている ・定期的にモニタリングを行い、支援内容の確認を行っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・他事業所の職員や相談支援担当者や連携しサービス担当者会議を行っている ・参画している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	・保育園や学校など、関係機関と連携しながら支援を行っている ・地域の病院等に連携をお願いし、連携した支援を行うことができるようにしている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	67		・併行利用や移行支援を行い、インクルージョンの観点から支援を行うとともに、保育所や幼稚園などと支援内容の情報共有をしている ・定期的に学校訪問、幼稚園訪問を行い、支援内容や対応施設での様子を共有している	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	・相互理解を行っている ・電話などで行っている ・小学校と直接ではなく、支援センターの相談員と連携している	・就学時の移行にあたり、小学校との支援内容の情報共有はおこなっていない為実施していき
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	4	・あいさつ訪問を行い、管家者との面識を築きつつ、円滑な連携を図る工夫をしている ・地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて助言を受ける体制を整えている	・行っていない
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7		・参加する機会を作り、地域の人との関わりを広げていきたい ・幼稚園や保育園などは園見学などで行っているが、他園児との関わりはない
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・フィードバックを通して、保護者に子どもの発達状況や課題について伝えている ・活動の終わりのフィードバックなどの時間に子どもの状況を伝え合えるように心がけている ・送迎時に行っている、必要に応じて面談も実施している	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・ペアレント研修を実施し、保護者への家族支援を行っている	・研修の機会は設けているが、情報共有に限られている	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に運営規定や支援内容、利用者負担について保護者へ丁寧に説明している</li> <li>・利用開始時など時間を取り、説明する機会を設けている</li> <li>・モニタリング毎にも行っている</li> </ul>		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングを行い、利用者の状況を確認しながらアセスメントを実施している</li> <li>・モニタリングなど定期的に保護者と面談する時間を取り、子どもの意見等を取り入れるようにしている</li> </ul>		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援内容について丁寧に説明を行い、保護者の同意を得ている</li> <li>・質問等の時間を取ながら、支援計画の説明を行っている</li> </ul>		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニター見学时に相談や悩みを聞き取り、対応している（チャットからも相談を受け付けている）</li> <li>・保護者からの悩み等に対しては適切に助言や支援を行っている</li> <li>・こちらからも声掛けをおこなっている</li> </ul>		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士の交流の場は現在設けていないが、プライバシーの配慮や保護者の意向を尊重している</li> <li>・特定の保護者が交流を持っているなどの状態はあるが、保護者会など定期的に交流を図る場を設ける回数はまだ少ない</li> <li>・希望があれば今後行ってきたい</li> </ul>	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャットやフィードバックで相談の希望があった際は日時調整を含め迅速に対応している</li> <li>・子どもや保護者からの相談については、面談等の時間を取るよう迅速にスケジュール設定をしている</li> </ul>		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等の情報は、保護者にわかりやすい場所に掲示し、周知に努めている</li> <li>・HUGを通じて行事の予定等を必要に応じて発信している</li> <li>・担当を決めて行っている</li> </ul>		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャビネットで管理し、退室時には鍵をかけるなど安全管理が徹底されている</li> <li>・鍵の管理など情報管理の決まりに則り行っている</li> </ul>		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・HUGや面談を通して保護者の思いを聞き取り共通理解を測っている</li> <li>「手を挙げる」「指をさす」などの、子どもに応じて様々な意思表示の方法を利用している</li> </ul>		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民を招いた行事や、地域に開かれた事業運営は実施できていない</li> <li>・事業所の行事に利用者以外を招待したことはない</li> </ul>	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種マニュアルを整備し、訓練を実施している</li> <li>・訓練を実施している</li> <li>・感染症マニュアルが配布されている</li> <li>・指導員だけでなく、利用している児童にも訓練を実施している</li> </ul>		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務継続計画を策定し、避難訓練を実施している</li> <li>・BCPを策定し、定期的に必要な訓練を行っている</li> </ul>		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイスシートを見て、薬やてんかんなどがあれば把握するようにしている</li> <li>・フェイスシートに記入してもらっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前確認が十分でないため、今後は把握を徹底していく</li> </ul>	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物を扱う活動の際には、事前にアレルギーの有無を確認している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の指示書に基づく対応が徹底できていない場合があるため注意していく</li> <li>・対応については保護者と今後確認していく</li> </ul>	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットや事故の報告を行い、再発防止に努めている</li> <li>・安全計画に則り、支援を行っている</li> </ul>		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全計画に基づく取り組み内容を家族へ周知している</li> <li>・周知している</li> </ul>		

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットの共有と再発防止策の検討を行っている</li> <li>・事業所ごとだけでなく、社内全体で共有を行っている</li> <li>・社内で共有し、対策を講じている</li> </ul>	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止研修に真剣に取り組んでいる</li> <li>・虐待防止研修を行っている</li> </ul>	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束の利用者はおらず、適切に対応している</li> </ul>

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	コアヴィレッジ日本橋 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2026年3月14日		2026年3月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50人	(回答者数) 14人
○従業者評価実施期間	2026年3月14日		2026年3月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	臨床心理士・公認心理師・保育士・教員免許保持者など多様な専門職が在籍しており、それぞれの専門性を活かした多角的な支援が提供できている。個々の特性や発達段階に応じた関わりが実現できている。	限られた空間を有効活用するため、パーティションやカーベット等を用いて活動スペースを柔軟に区切り、子どもにとって分かりやすく構造化された環境づくりを行っている。また、活動内容や特性に応じて空間を調整し、安全性と集中しやすさの両立を図っている。	支援内容や活動の意図、評価結果等について、より分かりやすく保護者へ発信する体制を強化する。ICTツールや掲示物の活用方法を整理し、情報の見える化と透明性の向上を図る。
2	STEM教育や脳バランスなどICT療育を行い、定期的に数量的に保護者へ結果を配布し、認知機能の向上に対してアプローチしている	空間認知やワーキングメモリーのアセスメント等、生活や学上で必要な概念理解や自己認知を促せるよう、トレーニングに積極的に取り入れ、実施している。	今後も、学校の教育内容の変化に応じて、IT社会の中で生きていく子どもたちが大人になった時に、学ぶ楽しさを知っていけるよう、変化に応じたトレーニングやツールの検討を行い、実施していく
3	送迎時のフィードバックや面談、ICTツール(HUG等)を活用した情報共有により、保護者との密な連携が図られている。日々の様子や成長の共有が丁寧に行っている。	活動プログラムが固定化しないよう、利用間隔や個々の興味関心を踏まえながら内容を調整している。個別活動と集団活動を組み合わせ、子どもの成長段階やニーズに応じた柔軟な支援を行うことで、継続的な意欲向上を図っている。	ペアレントトレーニングや保護者向け研修、交流機会の充実を図り、家庭支援の強化を進める。保護者同士のつながりづくりも含め、継続的に支援できる体制を整備する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースに一定の制約があり、特に動きの多い活動時には接触等のリスクが生じる可能性がある。また、建物構造上、階段の利用が必要であり、バリアフリー面での課題も残っている。	施設の物理的な広さや構造に起因する制約があり、大幅な環境改善が難しい状況にある。そのため、運用面での工夫に依存する部分が大きくなっている。	空間の安全性を高めるため、レイアウトの見直しや活動内容の調整を継続的に行い、事故予防の観点からの環境改善を進める。また、階段利用時の見守り体制も強化する。
2	地域との交流機会や、保護者同士・きょうだい間の交流の場が十分に提供できていない。外部との関わりや横のつながりの機会が限定的である点が課題となっている。	日々の個別支援や安全管理に重点を置く中で、地域交流やイベント企画に割く時間・人員が不足している。優先順位の関係で後回しになりやすい傾向がある。	年間計画の中に地域交流や保護者会を位置付け、計画的に実施できる体制を整える。小規模からでも実施を積み重ね、外部との関係構築を進めていく。
3	防災訓練や安全対策は実施されているものの、保護者への周知や情報発信が十分とは言えず、実施状況が伝わりきっていない部分がある。情報共有の質にばらつきが見られる。	情報発信手段が複数(口頭・ICT・掲示等)存在する一方で、運用ルールが統一されておらず、伝達の抜けや認識の差が生じている。結果として保護者への周知にばらつきが出ている。	情報発信の方法やルールを整理・統一し、重要事項(安全・訓練・支援内容等)が確実に伝わる仕組みを構築する。ICTツールの活用方法も含め、職員間で共通認識を持って運用する。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年3月31日			
コアヴィレッジ日本橋 放課後等デイサービス					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	・パーティションを用いて空間を上手に区切るなど限られたスペースを有効に活用している ・適切に行われている ・広さに問題はない	・走り周るなどの状況になった際に接触が危惧される場面がある
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	3	・足りない時は教室内で助けを求めするなど、協力して行っている	・補助職員の配置があると望ましい ・特定日にちで個別に利用する児童が多くなり、複数人を少ない職員で見なければならぬ場面がある
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・構造化された環境になっている ・見渡しやすい環境となっている	・施設内に会談があり、バリアフリー化が十分でない為、段差の解消など環境整備を進めてほしい ・構造化された環境についての知識がまだないので不明
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・子どもたちの活動に合わせた空間づくりがされており、心地よく過ごせる環境となっている ・子どもたちの活動に合わせてセパレートを行うなど、特性に合った環境づくりを行っている ・消臭剤を置くなど、清潔感を保っている	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・必要に応じて子どもが個別の部屋や場所を使用できるよう工夫がされている ・必要に応じて相談室が個別の部屋として利用できるよになっている ・必要に応じて部屋を解放している	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	・終礼などで共有改善する時間を作っている ・定期的な話し合いを行っている	・PDCAサイクルが十分に機能していないため計画・実施・評価・改善の流れを意識した取り組みが必要である
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・保護者向け評価表で課題を把握し、業務改善に活かしている ・定期的なアンケートを行い、保護者の意向・意見を把握している ・スタッフ全体でフィードバックしている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・職員の把握する機会を設け、その内容を業務改善に活かす工夫がされている ・職員会議にて職員の意見を把握する機会を設けている ・定期的な話し合いが出来る	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	・スタッフ全体で確認をしている	・第三者評価は実施していないため、結果が出たら改善につなげたい
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・さまざまな研修を実施しており、職員の資質向上が図られている ・定期的社内研修が実施されている	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2	・HPIにて公開されている ・適切に作成されており、公表もされている	・職員共に周知が不十分の為、HPで適切に公開されていることを共有出来るよう工夫が必要である
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・アセスメントと保護者の意見を踏まえ、個別支援計画を作成している ・モニタリングなどで子どもと保護者の意向を把握している	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・職員全員で個別支援計画を作成し、ケース会議で話し合いを行っている ・ケース会議などで他の職員の意見をもらい、放課後等デイサービス計画を作成している	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・支援前には必ずHUGで個別支援計画を確認し、その内容に沿って活動を行っている ・原案時にケース会議を行い、職員かんでの読み合わせを行うなどしている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	・様々なアセスメントを用いて状況の確認を行っている ・脳バランス等、外部アセスメントツールを使用している	・子どもの適応行動状況のアセスメントは行っていない為情報が十分に把握されていない

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後等デイサービス計画に基づき、支援のねらいや具体的な内容が明確に設定されている</li> <li>・具体的に学校名などを記録しながら、必要な項目を設定している</li> </ul>	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動プログラムの立案は個人ごとに行い、共有が出来る際に共有を行っている</li> </ul>	・活動プログラムの立案がチームで行われるのはイベントの時のみであり、日常のプログラム改善へのチーム参加は充分ではない
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の個別プログラムが固定しないよう工夫を行い、子ども一人ひとりの状況に応じた柔軟な支援が出来る体制を整えている</li> <li>・活動日の前の利用などを確認し、連続、近い利用日で同じ活動が重ならないようにしている</li> </ul>	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる形で放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別活動と集団活動を組み合わせた児童発達支援計画を作成し、支援を行っている</li> <li>・こどもの状況に応じて個別と集団を組み合わせる形で児童発達支援計画を作成し支援している</li> </ul>	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援開始前委に1日の流れを職員間で話し合い、担当を決めてチームで連携して支援する</li> <li>・毎日の朝礼で配置の確認等それぞれの動きの確認を行っている</li> <li>・全体で話し合っている</li> </ul>	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援終了後に職員間で1日の活動を振り返り、反省点や改善点について話し合っている</li> <li>・毎日終礼を行い、連絡事項等の共有を行っている</li> </ul>	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の支援内容を記録し、その記録をもとに支援の検証や改善に活用している</li> <li>・特に目立った様子があれば、終礼にて様子の報告・共有を行い、状況の改善を行っている</li> <li>・わからなかったことを聞いて、子どもの対応などを伝えるようにしている</li> </ul>	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的なモニタリングを実施し、その結果を踏まえて放課後等デイサービス計画の見直しを行っている</li> <li>・定期的にモニタリングを行い、支援内容の確認を行っている</li> </ul>	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニング内容が固定化されないよう工夫すると同時に、様々なアプローチを検討、実施している</li> </ul>	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画の元、一人ひとりに合わせた支援を行い、育んでいる</li> <li>・子どもの選択を尊重できるように、活動に選択肢を設けるなどの支援を行っている</li> </ul>	
関係機関	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業所の職員や相談支援担当者や連携サービス担当者会議を行っている</li> <li>・参画している</li> </ul>	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園や学校など、関係機関と連携しながら支援を行っている</li> <li>・地域の病院等に連携を願ひし、連携した支援を行うことができるようにしている</li> </ul>	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・併行利用や移行支援を行い、インクルージョンの観点から支援を行うとともに、保育所や幼稚園などと支援内容の情報共有をしている</li> <li>・定期的に学校訪問、幼稚園訪問を行い、支援内容や対応施設での様子を共有している</li> </ul>	・学校との情報共有ではなく、保護者から直接学校での行事予定共有が多い
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互理解を行っている</li> <li>・電話などでやっている</li> </ul>	・就学時の移行にあたり、小学校との支援内容の情報共有はおこなっていない為実施していき
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、障害福祉サービス事業所に移行した児童はいないが、今後適宜行っていく</li> </ul>	

や 保 護 者 と の 連 携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	・あいさつ訪問を行い、菅家者との面識を築きつつ、円滑な連携を図る工夫をしている ・地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて助言を受ける体制を整えている	・行っていない	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7		・参加する機会を作り、地域の人との関わりを広げていきたい ・児童館などの交流はないが、今後は視野に入れている	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。					
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・フィードバックを通して、保護者に子どもの発達状況や課題について伝えている ・活動の終わりのフィードバックなどの時間に子どもの状況を伝え合えるように心がけている ・送迎時に行っている		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・ペアレント研修を実施し、保護者への家族支援を行っている	・研修の機会は設けているが、情報共有に限られている	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約時に運営規定や支援内容、利用者負担について保護者へ丁寧に説明している ・利用開始時など時間を取り、説明する機会を設けている ・モニタリング毎にも行っている		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・モニタリングを行い、利用者の状況を確認しながらアセスメントを実施している ・モニタリングなど定期的に保護者と面談する時間を取り、子どもの意見等を取り入れるようにしている		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・支援内容について丁寧に説明を行い、保護者の同意を得ている ・質問等の時間を取ながら、支援計画の説明を行っている		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・モニター見学時に相談や悩みを聞き取り、対応している(チャットからも相談を受け付けている) ・保護者からの悩み等に対しては適切に助言や支援を行っている		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	5		・保護者同士の交流の場は現在設けていないが、プライバシーの配慮や保護者の意向を尊重している ・特定の保護者が交流を持っているなどの状態はあるが、保護者会など定期的に交流を図る場を設ける回数はまだ少ない ・今後行っていきたい	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・チャットやフィードバックで相談の希望があった際は日時調整を含め迅速に対応している ・子どもや保護者からの相談については、面談等の時間を取れるよう迅速にスケジュール設定をしている	・今後も引き続き迅速に誠実に対応していく	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・イベント等の情報は、保護者にわかりやすい場所に掲示し、周知に努めている ・HUGを通じて行事の予定等を必要に応じて発信している ・担当を決めて行っている		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・キャビネットで管理し、退室時には鍵をかけるなど安全管理が徹底されている ・鍵の管理など情報管理の決まりに則り行っている		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・HUGや面談を通して保護者の思いを聞き取り共通理解を測っている 「手を挙げる」「指をさす」などの、子どもに応じて様々な意思表示の方法を利用している		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		・地域住民を招いた行事や、地域に開かれた事業運営は実施できていない ・事業所の行事に利用者以外を招待したことはない	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>各種マニュアルを整備し、訓練を実施している</li> <li>訓練を実施している</li> <li>感染症マニュアルが配布されている</li> </ul>	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>業務継続計画を策定し、避難訓練を実施している</li> <li>BCPを策定し、定期的に必要な訓練を行っている</li> </ul>	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェイスシートを見て、薬やてんかんなどがあれば把握するようにしている</li> </ul>	・事前確認が十分でないため、今後は把握を徹底していく
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>食物を扱う活動の際には、事前にアレルギーの有無を確認している</li> </ul>	・医師の指示書に基づく対応が徹底できていない場合があるため注意していく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒヤリハットや事故の報告を行い、再発防止に努めている</li> <li>安全計画に則り、支援を行っている</li> </ul>	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>安全計画に基づく取組内容を家族へ周知している</li> <li>周知している</li> </ul>	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒヤリハットの共有と再発防止策の検討を行っている</li> <li>事業所ごとだけでなく、社内全体で共有を行っている</li> </ul>	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待防止研修に真剣に取り組んでいる</li> <li>虐待防止研修を行っている</li> </ul>	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>行っている</li> </ul>	・身体拘束の利用者はおらず、適切に対応している	

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		コアヴィレッジ日本橋		公表日		2025年 1月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・パーテーションで区切っております ・パーテーションでスペースを区切っております		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		・基礎人間的に適切です ・個別対応が必要な方には1対1で対応させていただいております	・その日の利用者様の対応方法によっては人員に足りないと感じる日もございます	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		・掲示物の案内、名前シートを活用しております	・使い方が難しいと感じる場合もございます	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・随時行っております	・面談室は1つありますが、個別対応の部屋がない分、区切れるようパーテーションの台数は必要かと思えます。 ・年齢や特性により、危ないと思える所もござ	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		・様子を見て相談室が使える環境でございます	・環境的に充足した方がよいと思われる所もでございます	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		・随時行っております		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・保護者アンケートを行っております	・職員入れ替わりについて、慣れ親しんだ先生がいなくなってしまう点が指摘されておりますので、検討が必要かと思えます	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・随時行っております		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	66%	34%	・監査実施以降、確認しております。 振り返りであった実績記録票の確認を行っております	・今後検討して参りたいと考えております	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・随時研修を受けております		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・公開しております		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		・随時行っております		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・朝礼や振り返りを行っております		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・随時行っております		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	83%	17%	・HUGを活用しております	・HUGを使いこなさなければいけないと思われるところがあります	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	83%	17%	・設定しております	・個人的にわからない点があります	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		・チームで行っております		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・工夫しております		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		・支援を行うことが出来ております	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		・朝礼を行っております	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		・出来なかった場合朝礼で必ず共有しております ・支援後できない時は翌朝のミーティングを利用しております	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		・徹底しております	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		・行っております	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・参加しております	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		・訪問、来訪がございます	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	83%	17%	・情報共有を行っております	・ご家庭の状況など個々の状況によって異なる所もございます
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		・情報共有と相談を受けております	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	83%	17%	・随時受け入れて参りたいと思っております	・個人として今後取り入れてまいりたい
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	・公開は随時行っております	・連携を少しずつ進めておりますので、今後取り入れてまいります
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	83%	17%	・モニター見学や相談は随時承っております	・個人として今後取り入れてまいりたい
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	83%	17%	・検討・計画中でございます	・個人としてまだ教室配属後短いためよくわからない所もございます	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		・随時行っております	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・随時行っております	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		・随時行っております	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・随時行っております	・送迎を保護者様が難しい場合も、各ご家庭により異なります

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	34%	66%	・ご兄弟で通われていらっしゃる場合は、曜日により、療育内容により一緒に活動できることもございます	・何度か設定したことがありますが参加者が少なかったこともあり、今後も検討し取り入れてまいります
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・随時行っております	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		・発信しております	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・鍵をかけ、伏字も使用しております	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・随時行っております	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	34%	66%	・行事に関わらず日ごろから見学・体験受け入れは出来ている	・地域の方にさらにご理解いただくためにも今後取り入れてまいります
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	83%	17%	・実施しております	・マニュアルなど常に手に取ることができる工夫が必要などともあると思われれます
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・実施しております	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		・確認しております	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		・掲示物でアレルギーの食品を貼りだし、出さないようにしております	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		・行っております	・お子様の特性によっては危ないと思える場所もございます
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		・周知しております	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・随時行っております	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・随時行っております	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		・計画推進中でございます		

2023年度放課後等デイサービス自己評価 事業所向け

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	67%	33%	0%	
	2	職員の配置数は適切であるか	67%	33%	0%	ガイドラインに定められている配置基準を守っています。今後も安定的な配置を図ってまいります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0%	100%	0%	2階に療育の場がありますが、療育の場やトイレ等はバリアフリー化されています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	67%	33%	0%	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	67%	33%	0%	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	67%	33%	0%	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	4月より午前中に研修時間を設けて資質向上に努めています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	67%	33%	0%	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	67%	33%	0%	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	67%	33%	0%	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	67%	33%	0%	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	67%	33%	0%	
関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	67%	33%	0%	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	33%	67%	0%	3月まで送迎を行っていた際は、送迎のための連絡調整は学校と行っていました。現在では、学校の年間計画や行事予定表で下校時刻等参考にさせていただいています。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	33%	67%	0%	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%	0%	0%	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	67%	33%	0%	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%	0%	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	67%	33%	コロナ等感染症の関係もあり、外部の方との交流はございませんでした。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	33%	67%	0%	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	33%	33%	33%	公認心理師や作業療法士等の資格保持者による面談の機会を設けておりますが、ペアレント・トレーニングも今後検討してまいります。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	67%	33%	0%	公認心理師や作業療法士等の資格保持者による面談の機会を設けております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	0%	父母の会はありませんが、茶話会で保護者様同士の交流の場を設けております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	33%	67%	0%	定期的会報はありませんが、行事等開催の際のご案内はHUGやSNSを通じて行って参ります。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	
非常時等の対応	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	67%	33%	0%	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	67%	33%	0%	準備されています。順次周知してまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	33%	67%	0%	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	33%	67%	0%	現在、該当児童はおりません。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%		